

いお たお 労 福 協

大分県労働者福祉協議会
機関紙 第60号

大分市中央町4-2-5
ソレイユ 6F
☎(097)533-1106
発行人 羽明 省三
2005. 1. 1発行

事業団体との連携強化に向けて



大分県労働者福祉協議会
会長 羽明 省三

新年明けましておめでとう
ございます。大分県労協に
集う会員組織の皆様方に謹ん
で新年のお慶びを申し上げます。

昨年中の県労協の各種取
り組みを振り返ってみますと
主催行事の、事業団体・地区
労協対抗ボリング大会、
第19回定期総会、2005年
度の県当初予算に関する対県
要請と労働者福祉意見交換会、
役員交流親睦チャリティゴ
ルフ大会、04年度福祉研修会、
また後援・共催事業の大分市
勤労者青年文化展、大分県労
働者創作美術展など、構成組
織と会員皆様方のご協力のお
蔭をもって成功裡のうちに終
えることができたところであ
り、皆様方のご支援とご協力
に改めて感謝と御礼を申し上
げるところです。

新しい2005年を迎え、
明るい年にとの希望と期待に
は大きなものがありますが、
一方で解決すべき多くの難
問や問題は依然残されたまま
という厳しい年明けです。

私も働く者を取りまく環
境については、景気や雇用情
勢など、いくつかの経済指標
は回復基調にあるといわれて
いますが、生活実感とはほど
遠くデフレ不況の継続といわ
ざるを得ない状況が続いてい
ます。とりわけ300万人を超え
る失業者や、年金や失業給付
の引き下げ、医療費の患者負
担増など、私たちの生活にとつ
て欠くことのできない雇用・
年金・医療の「セーフティネッ
ト」が危機的な状況にありま
す。あわせて、地域や家庭の
崩壊、犯罪の増加などの社会
不安、さらには世界規模での

平和や人権崩壊など、将来生
活への不安は高まるばかりの
状況が続いています。

だからこそ、「助け合い」
や「共同・連帯」を原点とす
る相互福祉や自主福祉の分野
が本来の役割を発揮して、明
るい展望を切り拓いていくこ
とが求められています。

労働者福祉のそれぞれの事
業団体は、九州労働金庫の設
立や全労済への事業統合に象
徴されるように、再編や統合
そして経営改革を図りながら
時代に適合した事業の展開を
図っています。大分県労協
は、事業体の新しい経営や事
業体制に適合した支援体制を
模索し自己改革に取り組みつ
つ、「ろうきん」「全労済」「総
合生協とグループ企業」「医
療生協」「県生協連」等の福
祉事業団体発展と労働組合と
の結びつきを強固にするお手
伝いを引き続き行っていきま
す。

今後共の、ご支援・ご協力
をお願いすると共に、皆様方
のご健勝・ご活躍をお祈り申
し上げて挨拶とします。

2004年度 福祉研修会の開催

大分県労協が主催する
『04年度福祉研修会』は、11
月19日(金)9時45分から全労
済ソレイユ7階において、加
盟会員組織の役員120人の参加
者をもって開催されました。
今回の研修会については、
地域での労働者福祉の取り組
みを展開するにあたってその
活動のベースとなる国と県下
における政治情勢を把握しよ
うという観点から、大分合同
新聞社取締役編集局長の森哲
也氏をお招きし、「参院選：
その後」と題する1時間30分
に亘る講演と、医療生協大分

【構成会員団体】

分組庫済協連協会館協連
単・金・生協連 生協福
大・金・生協連 生協福
別・金・生協連 生協福
合産働 合生者 医共 労退
要 産働 合生者 医共 労退
連主 全総 県動 県動 地高



また活動報告では、健康診
断結果の各種数値が持つ意味
合いや評価、そして日頃の健康管理・
体力づくりのレク
チャーがありまし
たが、日頃の運動
不足と不摂生を鋭
く指摘され、身に
つまされる内容で
もありました。

協和病院看護師主任原田里子
氏による「職場健診から考え
る労働者の健康」と題する加
盟事業団体の活動報告で構成
したところです。

研修会は、まず羽明会長の
主催者挨拶に始まり、来賓と
して県商工労働観光部・石田
宏一労働能力開発課長からの
祝辞をうけたあと、森編集局
長の講演に入りました。『直
近の国政選挙の衆議院選挙・
参議院選挙の各党の得票結果
をみて言えることは、小泉総
理は完全に孤立し(親しい友
人は4人しかない)、政権
の背後では崩壊が起こってい
る。また、これまで自民党長
期政権を支えてきた政・官・
業のトライアングルが崩れつ
つあるだけに、民主党による
政権奪取のチャンスであるこ
と、そのためには、日本最大
のシンクタンクである官僚を
巻き込んでの政策と戦略によつ
て国民の信頼感を得ることが
重要』との、「檄」が飛びま
した。

労働者福祉南部ブロック協議会の「04年度研究集会」については、九州各県持ち回りで開催されていますが、本年は11月4・5日の2日間、宮崎市のホテルプラザ宮崎で開催され、本年のテーマは「労働者が動く！地域が変わる！労働者の福祉を確かなものに」をスローガンに、「クレ・サラ問題」と「福祉事業団体との協力体制の再構築」という課題を取りあげた研究集会



研究集会には九州各県から合計130人が出席、その内大分県からは会員事業団体を中心として15人が出席、終始熱心に提起された課題への認識を深めたところです。

最後にクレ・サラ対策は、「カードに頼るな！」「サラ金に手を出すな！」「保証人になるな！」の3原則の厳守だそうです。



となりました。

第1日目は、演題：「カードの魔術師」落語で考えるクレ・サラ問題」の若手落語家桂三若氏による落語で始まり、九州労金の「しあわせ創造運動」、そして全労済の「保障設計運動」それぞれの活動報告がされました。

第2日目は、一橋大学教授・高山憲之氏から「年金改革と今後の課題」と題する講演を受け、意見交換のあと閉会しました。

労福協クイズ

17

簡単な設問ですので奮ってご応募ください。

①2004年から大分トリニータのユニホームスポンサーになった(株)トライバルキックスの取締役でもある芸能人は？ ○○哲哉さん

②大分県生協連合会は、○○生協で構成されています。

応募方法

- ・ハガキに、①、②それぞれの答えを書き、住所、氏名、職場名を明記の上送付して下さい。
- ・締め切り2005年1月31日消印有効。
- ・正解者の中から抽選により、10名の方に図書券をお送りします。
- ・当選者発表は、機関紙61号

あて先

〒870-0035 大分市中央町4丁目2番5号
大分県労働福祉会館(ソレイユ)6F
大分県労働者福祉協議会編集委員会宛

◎この機関紙へのご意見ご感想などお寄せ下さい。

房前 秀治(大分市) 八坂 美恵(大分市)
井上正一郎(日田市) 岡本 香代(大分市)
河村 明子(津久井市) 三浦 保雄(津久井市)
清水八重子(三重町) 伊藤 良子(大分市)
園田 弘美(大分市) 局 伊佐枝(佐伯市)

敬称略

① 60000円
② 11月19日(金)9時45分
機関紙59号の第16回クイズに多数の応募をいただきありがとうございます。厳正な抽選の結果、次の10名の方が当選されました。また貴重なご意見ご感想ありがとうございました。

第16回(機関紙59号)クイズの答え

別府杵築速見東国東郡地区労福協結成総会

大分県労福協では、各地区労福協の設置単位を連合大分各地域協議会の設置単位と同一していますが、現在、連合大分の「地域協議会再編・統合指針」(05年3月までに、現行13地協を8地協に再編・統合する)に基づき、地区労福協でも、再編・統合の議論・検討が進んでいます。

このたび別府杵築速見地区と東国東郡が統合し、11月26日には、別府杉の井ホテルにおいて結成総会が開催され、新規約と役員そして運動方針も決まり、「別府杵築速見東国東郡地区労福協」として新しくスタートしたところです。

別府杵築速見東国東郡地区労福協役員

事務局次長	事務局長	〃	〃	〃	〃	〃	副会長	会長	役職
黒石 勇次(東国東郡) JPU(全通) JPU国東支部	佐藤 勝昭(別杵速見) JPU(全通) JPU別府支部	小嶋 正治(東国東郡) 九州労働金庫別府支店長	日高 司(別杵速見) 九州労働金庫別府支店長	石本 恭稔(東国東郡) 自治労 国見町職労組	渡邊 昌教(東国東郡) 日教組 県教組東国東支部	溝辺 勝行(別杵速見) 電力総連 新九電労組別府分会	近藤 豊春(別杵速見) 電機連合 豊田(別杵速見) 電機連合	内藤 和彦(別杵速見) 自治労 別府市職労組	氏名 (選出地域) 産別名 単組名

新年の挨拶

2005



九州労働金庫大分県本部

県本部長 南 征一郎

新年あけましておめでとうござい
ます。

皆様には、輝かしい新春をお迎え
の事とお喜び申し上げます。旧年中
は、ろうきん運動の推進にあたりひ
とかならぬご支援・ご協力をいた
だき心より感謝申し上げます。

さて、自己破産者や多重債務者の
急激な増加は依然大きな社会問題と
なっており、大分県の2003年度
の自己破産者数は、3,840件で、
過去10年で5倍以上にもなっていま
す。そして深刻なのは消費者金融の
利用者の85%が労働者であると言わ
れているところです。

当金庫は福祉金融機関としてそう
した事実を真正面から捉え、一昨年
より会員皆様と二人三脚で「しあわ
せ創造運動」を推進して参りました。
特に、「しあわせ安心プラン」を中
心としたライフプランセミナーは、
10、11月に開催した「ブロック別推
進委員研修会」をはじめ、各労組や

職場の研修会としても開催してい
ただき大変好評を得ております。そし
て、その中で契約していただいた「し
あわせ安心プラン」は12月末には3、
000件に上り、会員皆様との協働
が確実に成果として表れております。
さらに、昨年末には皆様のご相談
に対し法的にもしっかりと受け止め
られるよう弁護士や司法書士などで
構成するセーフティネットワークを
立ち上げ運動基盤の充実も図って参
りました。

また、「しあわせ創造運動」を多
くの労働者に浸透させるためには会
員の拡大も必要です。間接構成員数
は全労働者の約2割程度（九州内）
であり、まだまだ不十分と言わざる
を得ません。労働金庫法第1条にあ
る「労働者の経済的地位の向上に資
する」使命をしっかりと運動の柱と
して更なる発展を目指して参ります。
そして、社会的役割をより発揮す
るためにNPO支援活動も充実させ、
新たな関係も構築して参ります。

本年も会員皆様のニーズを的確に
捉え、それをろうきんの制度や商品
にしっかりと反映させ、多くの皆様
に「オラがろうきん」と思っていた
だけのよう役職員一丸となって奮闘
する所存でありますので、昨年同様
のご支援・ご協力をいただきますよ
う心からお願い申し上げます。

皆様のご健勝とご活躍をお祈り申
し上げ年頭の挨拶といたします。

新商品 しあわせ安心プラン

1つの口座で最大5つのローンが利用できます。



自動車



教育



住宅



福祉



冠婚葬祭

簡単・スピーディに
繰り返し使えます

◎2回目以降のご融資は…

当座貸付金
請求書

と

資金使途
確認書

を(ろうきん)へ直接提出するだけでOK!

★通常目的ローンと同じ低金利 ★複数利用ならば、一本にまとめてラクラク返済

ご融資限度額	ご利用いただける方	契約期間	金利タイプ
最高500万円 但し、カードローン 無担保ローンと合わせ 1,000万円以内	所属会員がしあわせ安心 プランの申込みを承認して いる会員様成員の方	3年 3年単位で更新	①固定金利型・変動金利型 ※金利は、ろうきんが提示する 貸付利率に、各世帯の信用力 に基づき決定いたします。



お問い合わせは
九州ろうきん

おおいた

0120-567863

ゴウロクシチハチ ロウキンカン

生活安心！

全労済大分県本部
組合生協・グループ

理事長 藤元 宏紀

明けましておめでとうござ
います。
皆様には健やかに新年をお
迎えのことと存じます。

さて、昨年は自然界の異常
現象が相次ぎ、特に、16・18
・21・23号台風はかつてない
強風と豪雨を伴い日本列島を
縦断する形で猛威をふるい、
県下に犠牲者や家屋の倒壊、
水害を残しました。被災者の
方々には心よりお見舞申し上
げます。

全労済大分県本部も火災・
自然災害共済加入者の被害状
況を収集し、役職員全員で今
回災害を乗り越えようと全力
をつくしています。一日も早
い復興を願うばかりでありま
す。

災害や目に見えない不安を
解決するサポートは、裏返せ
ば共済事業が追求している安
心・安全運動だと言えるので
はないでしょうか。

その共済事業とは、私たち
の生活を脅かすさまざまな危
険（生命の危険や住宅災害、
交通事故など）に対し、組合

員相互に助け合うという活動
を保険のしくみを使って確立
した保障事業です。

さらに、今日、共済事業の
概念は、経済的保障だけでは
なく、組合員がより豊かな生
活を送るための総合的な生活
保障へと拡大しています。

水害や地震で被害を受けた
組合員をサポートすることの
みならず、生活防衛と組合員
の夢の実現へ背中を押す組合
員サービスと事業発展させ、
組合員の元気な笑顔を見たい
と思います。

全労済大分県本部・総合生
協・グループはこれからも営
利を目的としない保障の生協
として組合員のみなさまのた
めに、共済・介護・住宅・旅
行事業をとおして、主役であ
るあなたの暮らしにあんしん
をお届けしていきます。

役職員一同懸命に
努力してまいります

ので何卒よろし
くお願い申し上
げ、新年の挨拶
いたします。



活動報告

今年度は台風の九州上陸が4回あり、大分県においても大きな被害が発生
いたしました。上期の活動においては、台風被害に対する迅速な給付を最優先
に活動しました。また、12月1日には未組織の一般加入者問合せ等の窓口と
して、「お客様サービスセンター（福岡）」を開設しました。新年度（2004年度下
期）では、下記の活動を中心に推進展開いたします。

共済事業

●こくみん共済の加入拡大を目指します

2007年度末までに750万件（全国）の達成
新聞折込の回数増と、金融機関へのPOPスタンド設置拡大により、今年度、
5,679件の達成を目指します。

●自然災害共済の取組み

火災共済とあわせてスポット募集を行うことにより、加入拡大と火災共済に対
する付帯率をアップさせます。

●マイカー共済の取組み

制度改定による掛金や内容の有利さを全面に出し、重点団体を設定して、見積書
による加入促進等で大幅な契約獲得を目指します。

●新長期生命共済の促進

新しい保障制度の「総合医療共済：終身プラン」が12月1日より実施されていま
す。一生涯の入院保障の確保と掛金のアップがないことが特徴です。各地区での
研修会や説明会をおこない、制度の普及を目指します。

介護事業

●利用者の拡大に努め、心のこもったサービスを提供します。

ご相談は、大分県本部推進企画課 TEL097-548-6031
もしくは各支所まで

全労済大分県本部
第2回理事会開催

11月26日、理事18名・監事
3名の出席をいただき、20
04年度の第2回理事会開催
しました。報告事項として、
①会議開催状況報告、②台風
被災の状況、③第1四半期の

予算・実績差異報告、④共済
事業の進捗状況、⑤介護事業
の進捗状況についての報告を
行い全員異議なく満場一致で
承認されました。協議事項で
は、①理事の変更、②共済事
業の活動計画、③介護事業の
活動計画、④その他について
の提案を行い全員異議なく承
認されました。

今後の日程

◆第3回理事会の開催
2005年1月27日（木）



2004年度
第2回理事会開催

去る11月26日11時00分より、ソレイユ5階において2004年度第2回理事会を開催しました。協議事項の主な内容は次の通りで、いずれも満場一致で承認をいただきました。

かたしま台団地の販売活動



新春特別企画として特別用地を提供しての分譲フェアを開催します。

- 土地2区画（建築条件付）をお年玉特別価格にて提供。
- 2005年1月8日（土）16日（日）正午まで募集受付。
- 水曜日は除く。
- 16日（日）の正午に締め切り、13時より抽選。

総合生協外務営業
嘱託職員募集

事業基盤を確立するには、事業の増収をはかることが重要ですので、総合生協各事業全般の営業活動を行う、歩合給中心の外務営業嘱託職員募集を行うこととします。

特別企画旅行

- 2月24日（木）出発
大モンゴル4日間
138,800円
- 雪と氷の平原で零下30度40度を体験
- 募集人員10名（最少催行人員5名
添乗員同行

グリーンウッドかたしま台 新春お年玉企画

宅地限定2区画をお年玉価格でご提供!

区画No.1-3-8
86.82坪
(287.02㎡)

898万円

区画No.1-5-9
107.44坪
(355.18㎡)

1,143万円

現地ご案内会 1/8(土) 16日

例えば、こんな住まいは？…
ご家族のライフスタイルで
選べる多様なプランも
ご用意しています。

区画No.1-5-8に
下記プランを建てた場合

※土地価格/8,980,000円・※建物本体価格/13,965,000円(税別)

セット価格 22,945,000円

お申し込み期間
平成17年 1/8(土) 16日
※午前10:00～午後5:00
1月16日(日)は午後12:00まで
※1月12日(水)は定休日

お申し込み条件
●大分県居住者協と提携工務店契約を結んでいただきます。
●申込書が3ヶ月以内に契約・着工に遅れなかった場合、権利は無効となります。
●特約書は、その権利を他人に譲渡したり、他の目的に使用することはできません。
●お申し込みは1家族につき1区画、重複申し込みはご遠慮させていただきます。 グリーンウッドかたしま台販売センター

お申し込み方法
お申し込み用紙に住所・氏名・年齢・希望宅地などの必要事項をご記入の上、お申し込みください。お電話でもお申し込みください。

受付場所
グリーンウッドかたしま台販売センター

募集期間
平成17年1月16日(日) 13:00～

募集会場
グリーンウッドかたしま台販売センター

大分県労働者総合生活協同組合
大分県総合生協
大分市中央町4-1-32 ☎(097)548-5577

お問い合わせは
グリーンウッド
かたしま台
販売センター
☎0120-557-887
TEL (097) 567-2300
http://www.sagoseiky.jp/katashimadai/

雪と氷の大モンゴル ～零下30度体験ツアー～ 日程表

期日	訪問都市	交通機関	現地時間	行動予定・予定ホテル	食事
2/24 (木)	福岡空港 ソウル ウランバートル	大韓航空 大韓航空 専用車	10:30頃発 13:20頃発 16:10頃着	福岡空港より空路ソウルへ 空路ソウル経由でウランバートルへ 到着後ホテルへ (ウランバートル 泊)	朝× 昼機 夕○
2/25 (金)	ウランバートル イヘ・ドウト	専用車 専用車		市内観光後イヘ・ドウトのツーリストキャン プへ、遊牧民ゲルを訪問し、スキー・乗馬・ ラクダ乗りを体験 (イヘ・ドウトキャンプ 泊)	朝○ 昼○ 夕○
2/26 (土)	イヘ・ドウト ウランバートル ソウル	専用車 大韓航空	17:30頃発 21:45頃着	専用車でウランバートルに戻りショッピング 出国手続きをすませ、空路ソウルへ (ソウル空港内ホテル 泊)	朝○ 昼○ 夕機
2/27 (日)	ソウル 大分空港	大韓航空	8:40頃発 10:15頃着	空路大分へ	朝機 昼× 夕×

■最少催行人員5名 ■大韓空港利用 ■全食事付 ■添乗員同行 (詳しくは専用パンフレットをご覧ください)

雪と氷の 大モンゴル 4日間の旅

零下30度
体験ツアー

138,800円

総合生協旅行センター 大分市中央町4-1-32 TEL097-548-5515



謹賀新年

本年もよろしく願い申し上げます
平成17年 元旦

(財)県民共済会

県民共済会では、設立の趣旨でもあります「勤労県民の生活・福祉に寄与する」に基づいた活動として、無料法律相談会・各種教室等の公益福祉事業を行っております。無料法律相談会・無料法律相談会は、県民共済会の公益福祉事業でも最も古くから開催している事業であり、今回は、二〇〇四年度第一回として、十一月二十六日(金)に無料法律相談会を、十一月二十九日(月)に無料法律相談会を



開催しました。税務相談会では、遺産相続に係る相談等に対し、顧問税理士が対応方法を丁寧に説明しました。一方、法律相談会では、日常の生活の中にあるさまざまな問題を、顧問弁護士が、アドバイスを行い、両相談会とも、県内各地から、多数の方に参加頂き、問題解決の一助になったことと思います。

無料法律相談会 無料税務相談会

開催



公益福祉事業予定

■無料税務相談会

二〇〇五年二月九日(水)

〔時間〕十時～十六時

〔場所〕全労済ソレイユ二階

■無料法律相談会

二〇〇五年二月十日(木)

〔場所〕十時～十六時

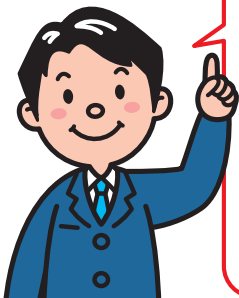
〔場所〕全労済ソレイユ二階

※日程は変更になる場合がございます。詳細が決定次第、新聞にて、ご案内致します。

類似団体についての注意

県民共済会は、正式名称を財団法人大分県勤労県民共済会といい、大分県内の勤労者のための共済事業及び公益福祉事業を行っている法人で一九七八年に設立されました。

当会は、新聞折込・金融機関での共済のご案内はしておらず、おいた県民共済(大分県民共済生活協同組合)とは異なる団体です。



医療扶助共済のごあんない

手続きカンタン。あらゆる病気入院に対応。
月掛金330円で入院日額2,000円＋手術共済金の保障!

①入院共済金

20口当日日額2,000円保障。連続7日以上疾病による入院で1日目から最高180日間の入院共済金をお支払します。

②手術共済金

手術の種類に応じて入院共済金日額の5・10・20倍の手術共済金をお支払します。

③みなし疾病

入院の理由が不慮の事故によるものかはっきりしないもので一定の条件を満たせば、病気とみなし、給付の対象とします。

共済金支払例

10日間連続して入院し、盲腸の手術をした場合(加入口数20口)

入院共済金 2,000円×10日=20,000円
手術共済金 2,000円×5倍=10,000円
支払共済金 30,000円

冠婚葬祭共済

セット共済に付帯している共済です。

指定業者を利用すると、加入口数に応じて利用額を割引します。指定業者以外の場合は、結婚祝金・葬祭見舞金をお支払します。

ご請求の際の加入口数は、セット共済の中の団体生命共済の組合員・配偶者・子供の合計加入口数となります。

組合員 口 + 配偶者 口 + 子供 口 = 合計加入口数 口

結婚	結婚共済金	10,000円～200,000円
結婚	結婚祝金	6,000円～25,000円
葬	葬祭共済金	契約者・配偶者・子供 36,000円～720,000円
		同居の親族 18,000円～360,000円
		別居の両親 11,000円～100,000円
葬	会葬品	12,000円～50,000円
儀	葬祭見舞金	11,000円～30,000円
	供物	対象者1件につき10,000円相当
	仏壇給付金	10,000円～200,000円
	墓石給付金	10,000円～200,000円
	墓地給付金	10,000円～200,000円
	永代供養墓	5,000円～100,000円

新年のごあいさつに変えて

勤労者医療生活協同組合

理事長 柳 楽 翼



明けましておめでとうございませう。

ゆる「成人病」のことをさす行政的な用語です。

勤労者医療生協（大分県協和病院、佐伯診療所、訪問看護ステーション、ヘルパーセンター）は、24年目に入ります。規模は余り大きくありませんが、医療、健診、訪問看護・介護などの多様な日常活動を行っています。

さて、「生活習慣病」という言葉がよく使われています。高血圧、糖尿病、心臓病や脳血管疾患などの、いわ

ゆる「成人病」のことをさす行政的な用語です。これらの「成人病」が、食べ過ぎ、飲み過ぎ、運動不足、タバコなど個人の生活習慣の問題から起こると言いたいのです。

しかし実は、長時間の働き過ぎ、職場のストレスなども強く関係しており、「労働・生活習慣病」と言うべきです。

今年も予防活動に力を入れていきたいと思います。

世界アスベスト会議開催

11月19～21日まで、「2004世界アスベスト東京会議」が早稲田大学国際会議場で開催され、ヨーロッパ、南米、アフリカ、アジア、アメリカ

など海外40か国120名を含め約800名の参加がありました。アスベスト使用は、100年の歴史があり、多方面に利用されることから世界中で使用さ

れてきました。

現在では、悪性胸膜中皮腫（ガンの一種）や肺ガンなどの発症の原因の一つとしてヨーロッパ、アメリカでは全面使用禁止となつていますがアスベストは被曝してから発病までの潜伏期間が約40年と長く「静かな時限爆弾」ともいわれています。

現在では、世界中で200万件の死亡労働災害の内、約10万人の命がアスベストによって奪われているとILO（国際労働機関）では推計しています。

東京会議では曝露・管理、被災者・家族支援、診断・治療、補償、除去・廃棄、健康問題などの多くのテーマについて報告と討論が行われました。

その中の一つにアスベストが原因の悪性胸膜中皮腫は、有効な治療方法がないといわれてきましたが海外の医師から、化学療法や免疫療法などの組み合わせで治療効果が向上したといった報告がありました。

勤労者医療生協からは、大分協和病院の柳楽院長が出席して、これから本格化する確実な健康被害に如何に対処するのか。などといった課題の討論に参加しました。

日本におけるアスベスト被害者が現出するピークは、2009年から2015年頃と予測され、その対策について今後の取り組みが必要となっています。

第15回 ミニバレー大会

大分協和病院の開設3年目にスタートしたミニバレーボ

ール大会は、11月28日に開催し、今年で15回目を迎えました。

この大会は、地域勤労協の方々や市体育指導員の協力も得て、ますます盛んで、12月の第1日曜日の開催が恒例化しており、職員と地域の組合員の方々が協同で運営する年中行事の一つとして定着しています。

今年は、準備段階で会場が先に押さえられていることが判明、気になるのは恒例の開催を予定していたチームの参加状況でしたが、やむなく1週間前倒しの開催を決定。

案の定、数チームより開催日変更に対して相談もありましたが、新規3チームの参加などで結果として昨年より3チーム少ない24チーム、約300名の参加



の参加で盛大に開催することが出来まし

た。

試合は4ブロック

の予選リーグと上位2チームづつの8チームでの決勝トーナメントで行われ、初優勝を狙う「日岡レビン」を「Ftマックス」が振り切り2連覇を達成しました。



食生活などに関わる2型糖尿病に、肥満男性に比べてかかりにくいとされているやせた男性でも飲酒量が増えるにつれて発症の危険性が高まることから、厚生省科学研究班の大規模疫学調査で分かった「痩せた人は血糖値を押さえるインスリンの分泌能力が弱い人が多い。長期の飲酒も分泌能力が低下するため、両者の複合要因ではないか」と分析している。

研究班は、40～50代の男女約3万人を9年から10年間追跡し、体重と身長から割り出した体格指数と糖尿病との関係を調べた。

この結果、やせ型の男性で、1日のアルコール摂取量が日本酒換算で1～2合の人は、飲まない人に比べて2型糖尿病発症の危険性が1.9倍に高まり、2合以上では2.9倍とさらに高くなっている。

体格指数でやせ型でない男性では、飲酒量が増えても危険性の数値に変化はなかったが、日頃の飲酒週間には気を付けよう。

新年のご挨拶



大分県生活協同組合連合会

会長理事 足立 勇一

新年明けましておめでとうございませう。

平素より生協連に對しまして、各界の皆様のご支援ご協力に深く感謝申し上げます。

昨年は、くらしや経済では不況は克服されつつも不均衡な市場経済のもとで格差拡大が進み、雇用不安、家計不安、急増する犯罪や消費者被害、BSE、食品の偽装表示等の食の安全など、現実の不安に年金や税などの将来的不安も重なって、景気回復を実感できる状況ではありませ

せん。

このような中で、消費者が安心してくらしをするために、一昨年は、「食の安全・くらしの安心」の実現をめざした食品安全基本法の制定や食品衛生法の改正は全国的な取り組みにより、国会において成立し、都道府県において県条例の制定に向けた取り組みが進んでいます。

さらに、昨年は消費者保護から権利の確立に向けた「消費者基本法」の改正が、議会・行政の協力と生協・消費者団体の粘り強い取り組みにより、国会での成立を勝ち取ることができました。

大分県におきましても、12月県議会で「大分県民の消費生活の安定及び向上に関する条例」の改正が行われ消費者対策の基本原理として「消費者の保護から権利の尊重と自立支援へ」対

りました。

さらに平和の問題では、人々の平和の願いに逆行しイラク戦争は泥沼化し、中東やアジアなどの戦争と報復テロは、罪のな

い多くの市民を死と恐怖に陥り、また北朝鮮の核開発の動きも危惧され、今こそ世界的に平和の貴さを追求する時期であると思

います。

日本国内でも、自衛隊のイラク派遣や有事法制問題が戦争参加に道を開くとして危険性が指摘され、改憲論議とともに重大な政治問題となつていきます。

環境問題も地球温暖化等地球規模での環境破壊を克服し、21世紀を担う子どもたちが未来に希望をもつて生き生きと安心してくらしをする社会を創つていかなければなりません。

大分県における生協運動は、県生協連合会に結集する生協も、12生協となり、組合員数は延べ43万人に達し、年間事業高も291億円となつています。時代は大きく変わろうとしており、生協運動においても事業経営構造改革の取り組みを徹底し、新たな展望への基盤をつくり、組合員の信頼と社会の期待にこたえられる生協をつくりあげてゆかなければなりません。

最後に、会員生協とともに関係各位、皆様方のご指導・ご支援を心よりお願い申し上げます。年頭のごあいさつといたします。

第14回 大分県生協大会開催

県生協連に加盟する12の生協は、運動の発展と相互交流を目的として「第14回大分県生協大会」を県との共催で、10月13日(水)全労済ソレイユで開催しました。



大会は、役員員・組合員など約100名が出席、総司会者のグリンコープおおいたの奥田富美子さんによつて進行され、まず主催者として県生協連・足立会長の挨拶の後、大分県・齋藤生活環境部長より「県では安心・安全を県政の中心に据え、現在消費者の「権利と自立」を盛り込んだ消費者条例の改正に取り組み12月の県議会に提案予定であること、またオレオレ詐欺や架空請求問題などの対策として、各家庭の電話機へのシール貼付などを考えている」との挨拶がありました。

次いで、来賓として小野弘利県議会議員の挨拶と大分県労協・羽明会長のメッセージを紹介。中津江村・坂本休村長より

「村に吹いた外の風」と題する講演を頂きました。「世界最大のビッグイベント、ワールドカップのキャンペーンが、一村一品運動との繋がりがから有望であったが、予選敗退によつてカメルーンチームとなり、小さな村に外からの風がふくこととなった。選手への到着遅れなどもあつて、報道に大きく取り上げられ全国的にも中津江村が知られることとなり、その年の日本新語大賞

04年度

役員員研修会開催

大分県と県生協連が共催し、(財)生協総合研修所が後援する「04年度役員員研修会」は、11月25日(木)、大分市の全労済ソレイユで、県下12生協の役員員80名が参加して開催されました。主催者を代表して足立県生協連会長から、「今回の研修会は、来年4月から施行される個人情報保護法について研修するため開催した」旨の挨拶のあと講演を受けました。

まず、日本生協連合会九州地連事務局長の岡田博氏より、「オレオレ詐欺や架空請求に利用される個人情報流出対策として、事業者としての管理が重要であり、①個人情報利用は組合員の了解が前提となること、②個人情報流出は徹底した管理によつて流出させないこと」との挨拶があ



まで受賞した。外の風が大きく吹き、文化や歴史面での国際交流、そして青少年の健全育成に大きく役立っている」と、苦労話を含めた坂本村長の楽しいお話が聴く事ができました。

引き続き「消費者被害とその対策」をテーマに、大分県消費者生活・男女共同参画プラザ次長の大内眞弓さんより講演を頂き、大分県職員消費生協の土居生良彦さんが「これからも食の安全・安心、平和や環境問題、消費者条例の改正や食品安全条例の制定を積極的に進めていこう」を旨とする大会スローガンを提案、全員で確認して大会を終えました。